

Shiranuka



議会だよりしらぬか

No. 143

2019.1.25

海のことは
漁師に問え

[定数特委報告]

議員報酬は現状維持！

政務活動費は支給しない！！

[アントキノシツギ]

安心できる子育て環境の整備を ほか2件

[傍聴席から] 雲津知成さん

はまのみらい to まちのみらい

栄松丸

完

報酬は現状維持。改選後に再審。 政務活動費も現状のまま支給せず。

先に決定した議員定数（13名）に続き、11月13日の特別委員会において報酬が現状維持の186,000円、政務活動費についても現状のまま支給しない事が決定し、石田委員長が12月定例会で委員会報告を行いました。定数を含めた委員会の結論は次のとおりです。

- ◎議員定数
現状維持とし、次期一般選挙は定数13人とする。
- ◎議員報酬
改選後の議員で審議する。審議にあたっては、議会・議員活動に見合う見直しが必要である。
- ◎政務活動費
改選後も現状維持とする。

なお、政務活動費の「現状維持」については、現時点における本委員会の結論であり、改選後も拘束できるものではないため、改選後の審議の可能性についての意見も出されました。

また、報酬については改選後の新体制に向けて「議員のなり手不足対策、議会活動の活発化など議会改革をさらに推進し、議会・議員活動に見合う見直しが必要である」という意見を報告書に加えました。

以下は報酬と政務活動費に対して出された主な意見です。

- ・他の町村議会と比較しても妥当。
- ・定数が13名のままだった事を考えると引き上げは難しい。
- ・現在の報酬では有能な人材はでてこない。
- ・町民に活動が見えないから報酬が高い等の意見がでる。
- ◎政務活動費
・各地で問題になっており、住民の理解が得られない。
- ・常任委員会の活動の中で対応できる。
- ・期末手当を活動費として使ってきた。
- ・報酬の中で政務活動を行ってきた。
- ・ルールを整備すれば支給しても問題がない。
- ・非難もあるが、やり方次第。

報酬の採決結果

増額 2人 現状維持 8人

福地 裕行	小池 憲一	山吉 公徳
中河 敏史	鎌田 民子	岡嶋 賢悟
	小野 キサ	中村 仁志
	立石 巧	折出 征清

政務活動費の採決結果

支給すべき 2人 支給しない 8人

福地 裕行	小池 憲一	山吉 公徳
中河 敏史	鎌田 民子	岡嶋 賢悟
	小野 キサ	中村 仁志
	立石 巧	折出 征清

議会の行方



改選まで三カ月に迫った地方議会議員選挙。

本議会では定数、報酬共に現状維持で改選を迎える事になりましたが、前号でも記載したとおり、定数に対して1名減の状況から、何よりも望まれるのは新しい議員の誕生です。

一人でも多くの立候補者が現れることを願い、前回の議会だよりでは公務の内容や報酬額を掲載しましたが、今号では実際に選挙に出るための条件や費用等を紹介します。

●選挙にできるための条件は？

選挙にできるための条件としては次の二つの条件を満たす必要があります。

●選挙にかかる費用はどれくらい？

選挙にかかる費用については候補者によってさまざまですが、町村議会議員選挙ではおよそ20万円から80万円程度と想定されます。

- 主に要するものとしては選挙応援にかかる人員のほか、以下のものが必要となります。
- ポスター
- ハガキ
- 選挙力
- 事務所
- 選挙広報
- 看板

なお、国会議員選挙や町長選挙に立候補するには

- 満25歳以上の日本国民
- 選挙前に三カ月以上、町内に居住

供託金（※）が必要となりますが、町村議員にはありません。

（※）供託金
当選を争う意思のない人や売名などを目的とした立候補を防ぐため、一時的に法務局に預けさせるお金。

小選挙区の国会議員で300万円。町長で50万円を納め、有効得票数の十分の一に満たなければ没収。

●どれくらいの得票が必要？

現在の定数13名になったのは平成19年の選挙からです。以来、別表のとおり2回の選挙（平成27年は無投票）が行われ、平成19年は14名による選挙で当選ライン（13番目）が224票。

平成23年は15名による選挙で当選ラインが186票となっています。

昨今の全国的な選挙離れから今春の投票率の見込みは難しく、また立候補者数についても予測できないため当選ラインの算出は困難ですが、有権者数についてはおよそ7000人程度と見込まれることから、過去2回の選挙との単純比較だと1600〜1800程度の得票が当選ラインとなる可能性があります。

改選まで残り三カ月 議会議員になるために

過去の選挙結果

選挙年	選挙当日の有権者数	投票率	当選ライン
平成19年	8,532人	74.99%	224票
平成23年	7,990人	75.66%	186票
平成27年	無投票	無投票	無投票
平成31年	7,000人?	?	?

救急・消防には？

消防業務の委託

2 億 9,154 万円

（町 29154
前年 2 億 8615 万円）

担当：地域防災課消防調整係

○消防人件費 2 億 5,289 万円
○事務費等 2,130 万円
○委託管理費 1,735 万円
本町に本部を置いていた釧路西部消防組合が平成 17 年に解散となり、現在は常備消防の業務を釧路市に委託しています。

消防設備の整備

4,798 万円

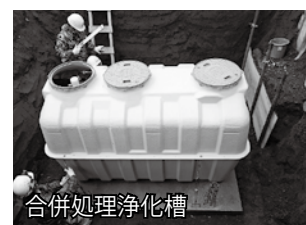
（補 194 町 146
起 2430 他 2028
前年 5197 万円）

担当：地域防災課消防調整係

○消防団等の装備更新 291 万円
○消防車の整備 4,507 万円
住民の安心・安全を確保するために消防設備の整備を行いました。

生活環境には？

し尿処理



6,156 万円

（町 2633 起 120
他 3403
前年 7359 万円）

担当：町民サービス課生活環境係

○し尿汲み取り費用 5,998 万円
○合併処理浄化槽補助金 158 万円
し尿の汲み取り処理のほか、下水道未整備地区の世帯を対象とした合併処理浄化槽の設置に対して補助金を支出しました。
※下水道を接続している家庭等の処理分については、下水道会計で対応しています。

ごみ処理

1 億 7,927 万円

（町 12760 起 1760
他 3407
前年 1 億 5795 万円）

担当：町民サービス課生活環境係

○ごみの収集・処理 1 億 5,757 万円
○処分場の整備・更新 1,896 万円
○地域環境整備助成金 224 万円
○環境衛生会への助成 50 万円

平成 29 年度

決算

まちのお金は
何に使った？

PICK UP!

公共施設には？

道路・橋・河川の管理



6 億 1,664 万円

（補 22659 町 23501
起 15350 他 154
前年 7 億 6037 万円）

担当：建設課土木都市計画係

○道路維持・改良舗装 4 億 7,797 万円
○橋の架換・補修 1 億 2,916 万円
○河川管理・排水路整備 951 万円

道路の維持については草刈りや補修、除雪等にかかる経費です。

橋については維持補修経費のほか、庶路と西庶路の跨線橋改修にかかる詳細設計委託料を支出しました。

施設の管理



1 億 3,737 万円

（補 2647 町 5078
起 5870 他 142
前年 1 億 889 万円）

担当：建設課土木都市計画係・住宅管理係、企画財政課地域振興係

○公営住宅の改修等 4,125 万円
○公園遊具等改修 2,836 万円
○各集会所の管理 794 万円
○その他の施設管理 5,982 万円

橋北団地の屋根の葺替え等のほか、短期滞在用として日の出団地の一部を内部改修しました。

ふるさと納税が勢いを増し、町の経済発展に大きく寄与

平成 27 年度より返礼品をスタートさせたふるさと納税については、開始以来、本町の海や山の恵み、そしてそれらを活用する生産者の知恵と技術が広く全国に認められたことにより、加速度的に寄附額が増加し、平成 29 年度の寄附額は前年よりも約 10 億円増加した 18 億 5 561 万円となりました。

昨年度は秋サケの記録的な不漁等により返礼品の単価が高騰したため、結果として寄附額 18 億円のうち本町の基金に残るお金

平成 29 年度決算が決算審査特別委員会（10 月 1 ～ 3 日）を経て 12 月定例会で承認されました。

一般会計の歳入と歳出の差し引きによる剰余金は約 1 億 5 千万円（下表参照）で、町の基金については前年から約 2 千万円増加した 35 億 2 535 万円となりましたが、庶路学園の建設等により町の借金にあたる起債も増加し、起債残高は 11 年ぶりに 100 億円を超えました。

貯金は増えているけれど、どうして借金も増えているの？

先に記載のとおり、町の基金（貯金）は前年から更に増加していますが、起債（借金）も大きく増えています。

「貯金するだけお金があるなら、借金を減らしたら？」

という疑問が一般家庭のやりくりと比較すると生じてしまいましたが、町の起債の中には優良債と呼ばれる「借入額の何割かが地方交付税（表 2）として戻ってくる起債」があります。中には 7 割が地方交付税の計算に算入されるものもあることから、町では事業内容を精査しながら優良債を極力活用して事業を進めています。

表 1 【平成 29 年度各会計決算額】

	歳入	歳出	差し引き
一般会計	114 億 183	112 億 5,076	1 億 5,107
国民健康保険特別会計	12 億 7,538	12 億 6,895	643
簡易水道及び飲用水道供給事業特別会計	4,720	4,413	307
公共下水道事業特別会計	5 億 3,296	5 億 2,836	460
介護保険特別会計	10 億 87	9 億 8,214	1,873
後期高齢者医療特別会計	1 億 2,634	1 億 2,597	37
合 計	143 億 8,458	142 億 31	1 億 8,427

※平成 29 年度末人口 79,600 人

平成 29 年度末基金合計 35 億 2,535 万円

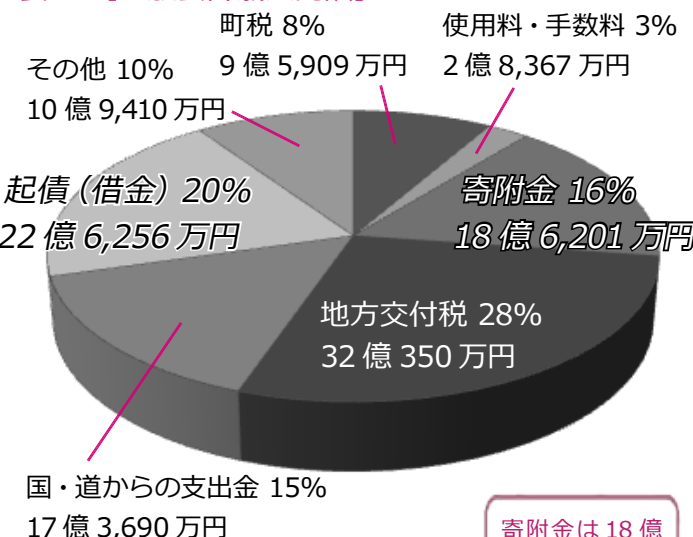
前年比 2,186 万円の増 ↑人口 1 人あたり※ 約 44 万円

平成 29 年度末起債残高 105 億 9,086 万円

前年比 16 億 21 万円の増 ↑人口 1 人あたり 約 133 万円

※この内、交付税の計算に算入される優良債がおよそ 8 割を占めます。

表 2 【一般会計歳入内訳】



文化活動団体への助成



547 万円

（町 255 起 292
前年 533 万円）

担当：社会教育課文化振興係

- 郷土芸能振興会への助成 148 万円
- 総合文化祭等の開催 186 万円
- 観光地域づくり推進事業 213 万円

観光地域づくり推進事業では、国の補助金を活用してアイヌ文化の体験プログラムの開発や台湾先住民族との交流拡大事業、首都圏でのプロモーション活動等を実施しました。

その他

ふるさと納税

15 億 7,215 万円

（他 15 億 7215
前年 5 億 4873 万円）

担当：企画財政課ふるさと納税推進係

- 寄附額 18 億 5,561 万円
- 寄附額の内左記を返礼品代等として、残りの 2 億 8,346 万円を町の基金に積み立てしました。

工業用水道

9,766 万円

（町 9766
前年 9482 万円）

担当：企画財政課企業誘致係

- 釧路白糠工業用水道企業団負担金 9,766 万円
- 釧路・白糠工業団地へ工業用水を供給している企業団に対し、釧路市と使用水量の推計案分等で負担金を支出しています。

人件費

12 億 6,280 万円

（補 2619 町 11 億 7259
起 0 他 6402
前年 13 億 1408 万円）

担当：総務課職員係ほか

- 議員・各委員等報酬 1 億 5,250 万円
- 職員給料・手当 8 億 1,271 万円
- 共済費等 2 億 9,759 万円
- 職員給料・手当は退職等により年々減少しており、併せて共済費等も減少したことから、前年の人件費を下回りました。

健康管理と介護

2 億 825 万円

（補 36 町 20148
起 500 他 141
前年 1 億 9903 万円）

担当：介護健康課

- がん検診・基本健診等 2,119 万円
- 介護保険会計への支出 1 億 7,897 万円
- 保健施設の管理 809 万円
- 健康診査事業のほか、予防接種事業やがん検診を実施しました。

教育には？

庶路小中学校校外の改築

19 億 4,801 万円

（補 4 億 9767 町 4066
起 13 億 7010 他 3958
前年 17 億 1429 万円）

担当：教育委員会管理課学校教育係



庶路学園

- 庶路小中学校校外移転改築事業 19 億 4,801 万円
- 建築主体工事、機械設備工事等を実施し、平成 30 年 2 月 28 日に校舎が完成しました。

教育環境

6,916 万円

（補 127 町 5341
他 1448
前年 4864 万円）

担当：教育委員会管理課学校教育係

- 就学の支援 1,063 万円
- 教育環境の充実 4,894 万円
- 白糠高校の魅力化 959 万円
- 入学支援金として、児童・生徒 1 人につき 2 ～ 3 万円の商品券を配布しています。

文化・スポーツには？

スポーツ施設の管理

8,659 万円

（町 8641 他 18
前年 8448 万円）

担当：社会教育課スポーツ推進係

- 総合体育館やパークゴルフ場等の管理 5,821 万円
- 温水プールの運営 2,838 万円

出産・子育てには？

出産支援

210 万円

（補 18 町 122
起 70
前年 139 万円）

担当：介護健康課健康管理係・健康相談係

- 不妊治療費の助成 81 万円
- 妊産婦の交通費助成 36 万円
- 母子手帳交付等 93 万円

子育て支援



やまびこ児童館

2 億 6,212 万円

（補 11220 町 13957
他 1035
前年 2 億 2592 万円）

担当：福祉課児童福祉係、教育委員会管理課学校教育係、学校給食センター

- 保育園の運営等 1 億 9,273 万円
- 児童館の運営等 5,294 万円
- 第 2 子以降の保育園保育料無料化 673 万円
- 第 2 子以降の幼稚園保育料無料化 33 万円
- 第 2 子以降の給食費の無料化 939 万円

白糠保育園等の運営のほか、国の制度に基づき私立幼稚園及び私立保育園に対しても運営に必要な支援を行っています。また、第 2 子以降の保育園保育料の無料化等、29 年度より一層子育て支援に力をいれています。

医療・健康・介護には？

医療費の助成等

3 億 957 万円

（補 10938 町 17028
起 2410 他 581
前年 3 億 1592 万円）



担当：町民サービス課保険年金係、福祉課社会福祉係・児童福祉係

- 国民健康保険特別会計への支出 9,265 万円
- 後期高齢者医療特別会計等への支出 1 億 4,680 万円
- 重度心身障がい者医療費の助成 1,993 万円
- 子どもへの医療費の無料化 2,143 万円
- ひとり親家庭等医療費の助成 621 万円
- リハビリテーション医療費の支出 2,255 万円

産業振興には？

商業振興



札幌の物販も大好評

4,354 万円

（補 254 町 2950
起 1050 他 100
前年 4067 万円）

担当：経済課商工係

- 商工会等への補助金 3,051 万円
- しらぬか魅力発信事業 1,234 万円
- 広域的な連携 69 万円

魅力発信事業としてプロモーション活動費等を支出したほか、広域的な連携として東京都荒川区で地場産品の物販を行いました。

農業振興

8,093 万円

（補 4361 町 1971
他 1761
前年 9595 万円）

担当：経済課農政係

- 新産業構築事業 459 万円
- 道営草地整備事業 1,693 万円
- 農業振興団体協議会への助成 377 万円
- 農業者・集落等への支援 5,564 万円

林業振興

8,821 万円

（補 5576 町 1855
起 1390
前年 1 億 568 万円）

担当：経済課林業係

- 林業団体への支援 210 万円
- エゾシカ被害対策 4,184 万円
- 民有林の整備 356 万円
- 町有林の整備 4,071 万円

水産業振興



漁協の荷さばき所

7 億 8,044 万円

（補 26414 町 678
起 25670 他 25282
前年 981 万円）

担当：経済課水産係

- 鮭中間育成・ししゃも孵化施設管理 671 万円
- 操業用機器の整備支援 282 万円
- 荷さばき施設等の整備支援 7 億 7,091 万円
- ししゃも孵化事業等のほか、繰り越し事業として進めている漁協の荷さばき施設の整備支援を行いました。

第4回定例会

平成30年第4回定例会は12月11日に開会し、2日間の日程で行いました。
初日は8名による一般質問のほか、平成29年度の決算認定等を行いました。
2日目に補正予算、契約の変更、委員の同意等について審議・可決し、閉会しました。

円、期日前投票分が8日間の3名で36万円、当日の投票票が本部15名、投票65名、開票45名で概ね180万円、合計294万8千円。

◆災害シミュレーション映像作成業務

この映像をどのように活用していくのか。
図学校や各町内会等に対する避難啓発に活用する。

作成するにあたり、町民の意識を高めるためにも過去の被災地の映像を盛り込んだ方がよい。
図今後検討していきたいが、対岸の火事というか、テレビを見ているような感覚になる可能性はある。考えていたのは、CGを使用して、津波等の災害でこれくらいの被害を受けるという映像の作成。

◆青年就業者海外研修事業

実施後に町民向けの報告会を開催する考えはないか。
図報告会となると参加者に引かれる可能性があるので、町の広報等で伝えていきたい。
「帰ってきてからのみなさんの

言動が後に続く方々の見本になる」という話はしたし、その団体によって自然派生的に報告会的なものが開催された方が良いと思っている。
なお、本事業は隔年での実施を考えている。毎年になると人を選ぶことが目的になり、ただ行って帰ってくるということになる可能性があるので。また、今回は女性がいないので、当然女性の方も入って来ると思っている。

5名では少ない。せめて意欲のある役場職員を1名ではなく、もう少し帯同させられないのか。また、今後は国内への研修も視野に入れていくのか。

図人数については今回が初めてという事もあり、各経済団体へ1名の推薦を依頼して実施することとした。帯同する役場職員の数については、次回以降検討したい。
研修先については国内も検討していきたい。

◆公営住宅の改修

橋北の公営住宅を3戸改修するということだが、古い公営住宅がまだ残っている。毎年のように改修していくのか。
図3階建て公営住宅の耐用年数



改修予定の橋北団地

は70年であり、建設からまた半分程度しか経過していない。今後も定期的に改修していきたい。

◆栄橋通り道路整備調査設計業務

10年程前になると思うが、この場所は地権者となかなか折り合いがつかず、休止となったように記憶している。今回はそういった心配はないのか。
図平成13年から14年に栄橋から国道392号までを整備し、平成15年以降は公園通りまで整備する計画だったが休止していた。その理由については、優良債を利用できないことや町の財政事情によるものである。

◆職員の給与に関する条例の改正

人事院勧告に伴い、俸給月額を0・16%引き上げるほか、手当を0・05カ月分増額し、年額4・45カ月分としました。

委員の同意

◆監査委員の任命同意

12月20日に任期満了を迎える監査委員について、新たに任命の同意をしました。

・佐野 正二 氏(再任)

条例の変更

◆議員報酬及び費用弁償に関する条例の改正

人事院勧告に伴い、手当を0・05カ月分増額し、年額4・45カ月分としました。

◆町長等の給与に関する条例の改正

人事院勧告に伴い、手当を0・05カ月分増額し、年額4・45カ月分としました。



LED照明化された公民館図書室

契約の変更

平成30年9月の第3回定例会で議決した左記の工事について設計変更に伴い工事請負代金額に変更が生じたので契約を変更しました。

質疑・答弁

◆公共施設省エネ設備等導入工事その1 (7326万7千円)

契約変更の内容は。
図役場庁舎の分では、LED照明を消費電力38ワットから25ワットのものに変更し、単価が当



LED照明化された議場

初の9万7000円から6万7000円に下がったことから、諸経費を入れて47万円の減となった。
福祉センターの分では、LED照明の外枠プレートをつける必要が生じたことから、諸経費を入れて41万円の増となった。
以上、差引6万円の減に消費税を含んだ6万4800円を減額変更するもの。

◆公共施設省エネ設備等導入工事その2 (5271万5千円)

茶路小中学校の146力所の機種変更等という説明だが、最初からわからなかったのか。
図10月初旬に、ワット数を抑えても同程度の照度を持つLEDが新たに製造販売されるという情報をメーカーから聞いた。
補助を受けている関係から環境省と協議したところ、会計検査等の関係もあるので減額できるものについては減額変更をするのが好ましい、という回答を得たことから変更にあった。

国道392号から公園通りまでの狭い道幅

次回の定例会は
3月上旬です。



小野 キサ 議員
O n o k i s a

駐車場の防犯対策は

町 外灯照明の強化改善完了



防犯対策の強化が望まれる駐車場

温水プール駐車場における車上荒らしの被害対策として、外灯照明の改善と防犯カメラ設置の考えを伺う。

温水プール駐車場において、車内に置いていたバックが盗まれた事件が発生し、警察による捜査が行われている。この事件を受けて、新たに温浴施設から駐車場を照らす照明を2基設置して照明を確保し、防犯対策の向上を図った。

防犯カメラの設置についてはプライバシー保護等の課題があり、厳格な運用管理が求められることや温水プール以外の施設についても検討が必要なことから、防犯カメラ設置場所等について前向きに内部での検討を進めていく。

この結果を基に「白糠町体力向上アクションプラン」を作成し、各学校はこの「アクションプラン」と自校の結果を基に次年度の「体力向上計画」を作成することになる。

平成29年度の結果は、小学校女子と中学校男子は体力合計点が全国平均を上回っているが児童生徒質問紙では、「体育の授業は楽しい」「運動することが好き」と答えている

体力テストの状況は

町 環境整備により向上

全国体力・運動能力調査の本町における検証結果と向上に向けて、今後の取り組みについて伺う。

調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象として、毎年7月までに各学校で実施されている。結果は、1月にスポーツ庁から提供され、「北海道版結果報告書」は2月に公表される予定である。

運動部活動の今後は

町 年度内に方針を策定

スポーツ庁で示した、中学校の部活動のガイドラインの骨子案に対する本町の現状を踏まえての今後の取り組みを伺う。



女子は全道、全国平均を下回っている状況である。これらの結果を基に、各学校では数値目標を定めて、さまざまな体力向上策を打ち出している。

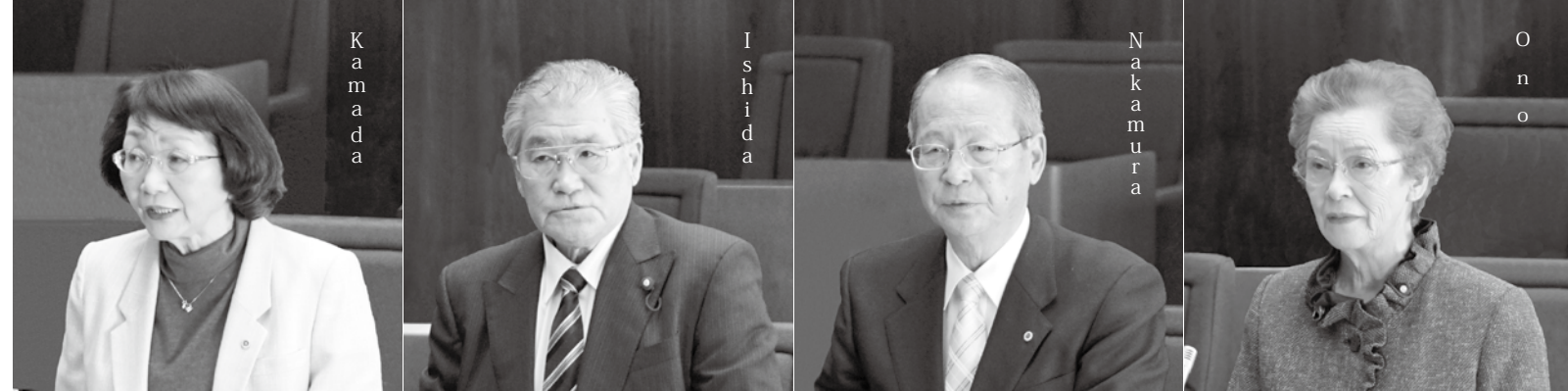
このような組織的な取り組みの結果「自分の体力に自信がある」と回答した児童の割合も多くなっている。今年度から体育専科教員が担当しており、来年度から強化月間の予定もある。今後も運動する機会の拡大に努め、児童生徒の体力向上を図っていく。

町本年3月にスポーツ庁が「運動部活動のガイドライン」を策定、道教委が「働き方改革アクションプラン」を策定し、教職員の働き方に関する主な取り組みを示している。

白糠町教育委員会では、北海道の「アクションプラン」を基に、本年8月に部活動指導に関わる教員の負担軽減を含めた「働き方改革アクションプラン」を策定した。

この際、スポーツ庁の示した「ガイドライン」と道の働き方改革の「アクションプラン」の部活動休業日等の設定に少し違いがあるため、平成31年1月を目途に「北海道の部活動の在り方に関する方針」が策定され、道の働き方改革「アクションプラン」が改訂されることになった。

本町においても道の動きにのっとり、年度内には「白糠町の部活動の在り方に関する方針」を策定するとともに「白糠町立学校における働き方改革アクションプラン」の改訂を進め、学校部活動と教職員の働き方改革の適正な運用を図っていく考えである。



5 中河 敏史 議員

町民へのサービスについて

1 小野 キサ 議員

温水プール駐車場の防犯対策について 外2件

6 立石 巧 議員

街路樹の選定について 外1件

2 中村 仁志 議員

防災備品について 外3件

7 福地 裕行 議員

役場職員募集について 外4件

3 石田 正義 議員

町道補修整備について 外2件

8 折出 征清 議員

一次産業の振興について

4 鎌田 民子 議員

ブラックアウトの影響と今後の対応について 外1件

小野議員ほか7名が21件28項目について質問しました。
※一般質問より1人90分以内で、町長に対して広く町政に関する説明を求めます。





中村 仁志 議員
Nakamura hitoshi

乳幼児用液体ミルクを災害備蓄品として採用してはどうか

町 安定した生産体制とコスト面で安価になれば検討する

【問】ライフラインが寸断され、水や燃料の入手が困難な状況下では、常温ですぐに乳児に提供できる液体ミルクが役に立つのは必然。乳幼児用液体ミルクを災害備蓄品として採用してはどうか伺う。

【答】乳児に授乳できることから母親等の負担も軽減される。一方、デメリットについては、開封後の長期保存ができないことや、凍結する場所での保管ができないこと、更には2倍から3倍程度高額となってしまう。

来春、日本製の液体ミルクが発売される見込みであり、安定した生産体制とコスト面でより安価になった時点で、

災害備蓄品として整備するよう検討する。

予測不可能な災害に対する防災士が必要

町 資格取得に向けて周知していきたい

【問】町の防災士の人数は。

【答】防災士資格者は四名。一名は白糠郵便局長、三名が消防の現職及びOBで、これまで町主催の防災訓練や講師としてご助力いただいている。

町 今後の防災士資格者の推進の考えは。

【答】防災士は認定機関が主催する2日間の研修講座を履修した後、資格取得試験に合格し、さらに実技講習を受講しなければならず、加えて受験経費が57000円と高額なことから、資格を取得することが難しい状況にある。

本町では、北海道が認定を推薦し、防災士と同様の活躍をしてもらえ「北海道地域防災マスター」を有する11名

の活用も併せて、今後とも防災・減災の啓蒙・啓発に努め、これら資格取得に向けて周知していきたい。

重すぎる通学用力バンを調査したか

町 本町独自の調査を行った

【問】「通学用力バンの重すぎる」とこんな声が全国的に児童・生徒・保護者から上がっているが、調査したかどうか。また今後の対策を伺う。

【答】本町独自の調査として、8月に「通学時の学習用具の持ち運びの状況」について行っている。その内容については「学校に置いてよい学習用具等を決めているか」「置いてよい学習用具の具体例」「学習用具の保管場所」等。

庶路支所にも期日前投票所を設置すべき

町 設置することで協議が整った

【問】明年、地方統一選挙、参議員選挙が実施される。現在、期日前投票所は白糠本庁の1カ所になっているが、町民の利便性と投票率の向上を考慮し、庶路・西庶路地区を対象に庶路支所にも期日前投票所を設置すべきと思うが伺う。

【答】近年、町全体の投票者のうち期日前投票の割合が増加傾向にある。投票管理者や立会人等の人的確保については地域に依頼して理解いただき、庶路・西庶路地区に期日前投票所を増設することで協議が整った。時期については来年の統一地方選からと考えており、設置日数及び開閉時間等の詳細についてはまとまり次第周知する。

今後とも公正かつ適正に執行し、有権者の利便性並びにサービスの低下を招かないよう配慮していきたい。



石田 正義 議員
Ishida masayoshi

清和園までの町道を整備せよ

町 計画を立てて整備を進めたい

【問】橋北踏切から白糠高校、白糠中学校を抜け、清和園までの町道を整備する考えがないか伺う。

【答】和天別原野^{もとつべ}辰辺線の2路線は、平成27年、28年度において路面性状調査を行った結果、舗装路面の傷みが著しく整備が必要と判定された。現在のところ補助事業による整備が難しい状況であるが、通学路として、また清和園までの連絡道路として重要路線であることから、早期に取り進めるよう準備する。

【問】道路幅が狭く歩道がないので歩行者は危険であり、夜は暗い。福祉にやさしい環境整備をお願いしたい。

【答】路盤から舗装部分を含めて財源を確保したうえで次年度からなんとか計画を立てて整備していきたい。

治山ダムが土砂で満杯

町 国や道に対して適正な管理を求める

【問】東山地域井上沢の治山ダムは、平成9年災害関連緊急復



治山ダム

【問】井上沢から水が吹き出る様子を見た住民は安心して生活ができない。被害が起こる前に対応すべきである。

【答】根釧西部森林管理署に定期的な点検など適切な維持管理を引き続き要望すると共に、ダムに過剰に堆積した土砂、支障木の除去等も併せて要望していく考えである。

災害への備えが必要

町 備えは順次進めている

【問】9月6日に胆振東部地震が発生した。震度7、経験したことのない大地震。大災害はいつ何時発生するかわからない。災害に備えておくことが大切である。

【答】地震、津波に対する備えは順次進めてきている。高台に津波指定避難所、避難路、災害備蓄品整備、防災行政無線の整備、庶路学園校舎高台移転等、自主避難に対する啓蒙などを行ってきた。また課題は多くあるが、基本的に経験から学ばなければならぬと思う。想定外の事が起こるが、きちんと検証してわが町にあてはめて最善をつくしていく考えである。

町 酪農家の停電対策に自家発電機の導入が必要と思う。

【答】酪農家の停電対策に自家発電機の導入が必要と思う。酪農家の13戸中、自家発電機導入は13戸、導入を検討しているのが13戸である。国は今回の大規模停電を受け影響を受

けた酪農家が経営再開、継続できるよう乳房炎対策や停電対策へ支援を始めた。道も配電盤整備に支援制度を構築している。釧路丹頂農協も自家発電の導入や配電盤整備へ助成性を創設。制度を活用した整備の検討を始めている。

【問】国が50%、自治体が25%、30%出せば42戸の農家に対応していけるのではないか。

【答】国が50%、道が25%補助。丹頂農協が10%を補助する。現時点で町として支援の考えは持っていない。

【問】太陽光発電やバイオマス発電などの地元の電力を地元に戻元できる方法はないのか。

【答】北海道電力の送電系統で送電されていて、限られた場所へ送電できる仕組みにはなっていない。

【問】国と北海道電力に対して災害時における危機管理の徹底と発電施設の分散設置が可能となる送電線など、電力の基盤強化について町村会として緊急要望を実施した。その実現に向けて取り組んでいく。



鎌田 民子 議員
Kamada tamiko

ブラックアウトによる影響と今後の対応は

町 危機管理の徹底と再発防止策を要望していく

■酪農家の被害状況（生乳の廃棄と被害額、乳房炎の発症等、発電機使用状況）。
水産・商工業への影響、要支援者への対応は
酪生乳廃棄84・6トンで846万円。乳房炎による生乳廃棄46・3トンで463万円。乳房炎罹患牛が521頭。発電機の使用は42戸の内、13戸が導入、18戸がレンタル

対応、合計で31戸が使用。商工業の被害は、原材料や商品の冷凍、冷蔵保管が叶わず、廃棄した水産加工場、一般商店、飲食店が9店舗で729万4千円の被害額。

要支援者への対応については、障がい者、介護サービス利用者らの安否確認、飲用水の供給、配食サービス等の提供が可能であることを事業者

に確認し対応した。（訪問178人、電話79人）

■発電所及び発電設備の分散化が取り上げられているが、北電に対して、国・道が強く働きかけをするよう町として要請すべきでは。

■大規模停電を二度と繰り返さないために、災害時における電力の危機管理徹底と再発防止を強く要請した。10月に町村会として「緊急要望書」を提出した。



し、解決に向けて話し合いをしている。ブラックアウトについても各機関と連携し、協議を継続していく。

「障害者控除対象者認定書」の活用と周知は

町 町広報や個別周知に努めた

■「管内防災・減災対策連携会議」が設置されているが機能しているのか。今回のブラックアウトに関し、今後の協議は。

■毎年会議を開催し、担当者の災害対応等の課題を共有

■介護保険の要介護認定を受けている人は、障害者手帳の交付を受けていなくとも、障害者控除が受けられる制度がある。過去5年間で障害者控除対象者認定書の交付人数は

何人か。

■平成25年から平成29年までで、普通障害者控除対象者が11人、特別障害者控除対象者は66人、合計77人。

■交付したうち、本人などが申請し、控除を受けた人は何人か。

■普通障害者控除対象者9人、特別障害者控除対象者42人、計51人が受けた。

■この制度の手続き等についての周知方法は。

■町広報及び町ホームページによる全体周知を行ったほか、要介護新規認定時、更新時に説明文、申請書を送付し、個別周知にも努めた。

■認定書で確定申告をすると所得税の軽減や住民税が非課税になり、連動して介護保険料も下がる。最大5年さかのぼって控除を受けられる。周知の徹底を図ってほしい。

■説明文の内容をより分かりやすいものにしていく。ケアマネジャー、家族にも伝わる手立てをとっていく。



中河 敏史 議員
Nakagawa toshifumi

火葬場使用料の平等なサービスを望む

町 今後検討する

■本年、白糠町の火葬場改修に伴い、町民の火葬が釧路市で行われた。その結果、町外使用ということで釧路市の条例に基づき36000円の使用料を支払うことになった。

■白糠町火葬場条例によると町内使用料は13000円であり、今回のような町の改修工事により町外を使用せざるを得ない場合には、使用者の負担軽減を図るためにも使用料の差額を町が負担する考えはないか。

■白糠斎場の大規模改修に伴い火葬炉も改修したことから8月20日から9月9日まで火葬場の使用を休止した。この期間、釧路市の火葬場を利用したのは9件。利用した方の負担を軽減すべきとのことであるが、直近の10年間で計3回の改修に伴い差額補助等も行ってきたことから、同様に扱った。今後については意見もあり他市町村の場合と同じ料金でできるよう検討している。

■町民はみな平等なサービスを受ける権利があると思うが、火葬場の使用料は、それぞれ

れの条例で定めている使用料を納めなければならない。

■白糠町の条例では使用料13000円と定めており、町外の使用料は定めていないが。

■白糠町以外の使用料は定めていないので釧路市の条例にしたがった。

■町民は平等なサービスを受ける権利がないかを聞いている。白糠町では13000円の使用料が、釧路市では市民が18000円、市外とのことで36000円の使用料となり230000円の負担となっている。今回の件は町側の都合であり負担を強いることはできない、また火葬場条例には町内の火葬のみの記述しかない。本来であれば今回のような場合について定められていなければならない。

■釧路市の火葬場を使用しているの、釧路市の火葬場条例で定められた料金を支払っていた。本町が他の市町村の火葬場の使用料を決めることはできない。

■今回の件は町内の火葬場を

使用したくても出来なかった。自己都合で町外を望むのであれば問題ないが今回は望んでいない。また窓口で納得のいく説明を行ったのか。

■釧路市の施設を利用するよう説明した。

■納得しなくともせざるを得なかったのではないか。減免について過去も行わなかったから減免しないのは今までも配慮が足りなかったのではないか。

■過去に気付かなかったことを今気が付いたので、その通りだと思うが、今の条例に従わざるを得ない。現在釧路市と検討中である。

■現実に9件の方は23000円負担を強いられた。火葬場条例第4条には「町長は、公の扶助を受けている者又はその他特別の理由によりその必要があると認める者について、使用料を減免できる」とあるが、減免できないか。

■釧路市の火葬場を使用しているの、白糠の火葬場条例を適用することはできない。

■白糠町の火葬場が使用できない場合、町外の火葬場を使



改修した火葬場

用する、との条例はあるか。

■条例はない。

■条例がないのに依頼したとのことか。

■町内の施設を使用できないので依頼者が釧路市の条例に従い使用した。

■この場合だれも断れない。町民は平等なサービスを受ける権利があり、町内での火葬料金13000円に減免するのが当然である。

■これまでも減免してこなかったの減免できない。今後検討する。



立石 巧 議員
Tateishi takumi

街路樹を低木にしては

町 町内会と相談

町 町木はナナカマドであるが、ナナカマドは上に伸び、年数が経つと折れやすく危険である。特に人の往来が多い場所（商店街や通学路）には不向きと思う。街路樹には低木で地域住民が手入れしやすい木を植栽すべきと考える。

町 定期的な枝の剪定、塩害などで枯れた場合は随時撤去をしてきている。またナナカマドは、木の実の落下による歩行者からの苦情や寄生虫の駆除などの要望も寄せられている。今後、街路樹を植栽する際や植え替えをする際には、関係団体など地域とよく相談したうえで、適切な維持管理に努めたい。

町 茶路小中学校の生徒の推移及び将来展望について、来年以降の生徒数を伺う。

町 茶路は表のとおりであるが、将来展望は（6年後以降）自然的に減少が想定される。

生徒の推移と展望

町 推移は表のとおり

町 町木はナナカマドであるが、ナナカマドは上に伸び、年数が経つと折れやすく危険である。特に人の往来が多い場所（商店街や通学路）には不向きと思う。街路樹には低木で地域住民が手入れしやすい木を植栽すべきと考える。

町 定期的な枝の剪定、塩害などで枯れた場合は随時撤去をしてきている。またナナカマドは、木の実の落下による歩行者からの苦情や寄生虫の駆除などの要望も寄せられている。今後、街路樹を植栽する際や植え替えをする際には、関係団体など地域とよく相談したうえで、適切な維持管理に努めたい。

	年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
小学校	入学者数	2	4	1	2	1	1
	児童数	18	19	19	19	14	11
中学校	入学者数	1	2	1	2	5	4
	生徒数	4	4	4	5	8	11
合計	児童生徒数	22	23	23	24	22	22



福地 裕行 議員
Fukuchi hiroyuki

職員募集はなぜ

町 即戦力の人材を確保するため

町 町木はナナカマドであるが、ナナカマドは上に伸び、年数が経つと折れやすく危険である。特に人の往来が多い場所（商店街や通学路）には不向きと思う。街路樹には低木で地域住民が手入れしやすい木を植栽すべきと考える。

町 定期的な枝の剪定、塩害などで枯れた場合は随時撤去をしてきている。またナナカマドは、木の実の落下による歩行者からの苦情や寄生虫の駆除などの要望も寄せられている。今後、街路樹を植栽する際や植え替えをする際には、関係団体など地域とよく相談したうえで、適切な維持管理に努めたい。

町 新たな産業の創出に取り組む



崩落した法面

町 町木はナナカマドであるが、ナナカマドは上に伸び、年数が経つと折れやすく危険である。特に人の往来が多い場所（商店街や通学路）には不向きと思う。街路樹には低木で地域住民が手入れしやすい木を植栽すべきと考える。

町 定期的な枝の剪定、塩害などで枯れた場合は随時撤去をしてきている。またナナカマドは、木の実の落下による歩行者からの苦情や寄生虫の駆除などの要望も寄せられている。今後、街路樹を植栽する際や植え替えをする際には、関係団体など地域とよく相談したうえで、適切な維持管理に努めたい。

農業は甘くない

町 新たに受け入れ準備を進める

町 町木はナナカマドであるが、ナナカマドは上に伸び、年数が経つと折れやすく危険である。特に人の往来が多い場所（商店街や通学路）には不向きと思う。街路樹には低木で地域住民が手入れしやすい木を植栽すべきと考える。

町 定期的な枝の剪定、塩害などで枯れた場合は随時撤去をしてきている。またナナカマドは、木の実の落下による歩行者からの苦情や寄生虫の駆除などの要望も寄せられている。今後、街路樹を植栽する際や植え替えをする際には、関係団体など地域とよく相談したうえで、適切な維持管理に努めたい。

新規事業に期待する

町 馬肉の加工を目指す



折出 征清 議員
O r i d e masashi

不漁対策を急げ

町 積極的に応援したい

●我が町の沿岸漁業において、本年度の漁獲量は昨年比で秋サケ漁が215%だが、一昨年比では29・4%となっている。

ししゃも漁は未確定だが、昨年度より多少増となる見込みではあるものの、価格の低迷や魚体の小ささから漁獲高はさほど伸びておらず、漁業関係者にとっては依然として厳しい状況にある。

●昨年の第4回定例会で伺った不漁対策問題について、その答弁を聞いた漁業者の中にはもう一歩踏み込んだ形での養殖漁業等の期待もあることから、本町の沖合は潮流も厳しくクリアしなければならぬ課題は理解するが、その後の白糠漁業協同組合と協議検討した内容について伺う。

●白糠漁業協同組合では、過去に取り組んだ増養殖事業で

思うような成果が出なかった厳しい経験も踏まえつつ、組合員が一丸となり繰越損失金を完済し、いよいよ増養殖事業を念頭に新たな取り組みを考えていたが、昨年、本年と続けて不漁に見舞われるという状況下にあることから、今すぐ新たな増養殖事業に取り組むことは難しいという話を伺っている。

しかし、今般、漁業法の改正により民間活力の導入が可能となり、今後においては、民間活力の導入も含めた増養殖事業のあり方について前向きに検討したいとも伺っていることから、町としても積極的に応援したい。

また、出来れば漁民の方も積極的に白糠漁業協同組合に提案等してもらいたい。



写真上：秋サケの水揚げ
写真右：シシャモの選別



な状況だからこそ積極的な取り組みが必要。

●厚岸町等の先進地の取り組みについては、白糠漁協の担当者との協議の中で、行政、漁協においてそれぞれ内容を確認し、白糠の前浜の条件を考慮した中で継続的に協議している。

●今後は漁協が新たな漁業法の改正の中で取り組みを検討しているため、連携を図りながら協力していきたい。

議会に足を運んでみませんか。 町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。
町のホームページにも議会情報を掲載しております。
<http://www.town.shiranuka.lg.jp/>

過 去の一般質問等の中から、あの質問がその後どうなったのかを調査する

●「追跡 アントキノシツギ」
今回は、平成24年第2回定例会における立石議員の質問のほか、2件を追跡しました。

追跡① 安心できる子育て環境の整備を

●平成24年第2回定例会
立石議員の質問

当時の質疑・答弁

●白糠町の人口減少に歯止めをかけるためにも、現在、町が行っている少子化対策のほかに、子育てをしている母親の意見を取り入れた中で本町独自の新たな少子化対策が必要と思うが考えを伺う。

●町では子育て世代への支援策として、乳幼児等の医療費の助成、紙おむつ用ゴミ袋の無料配布などの経済的支援や、子育てに関する不安や悩みの相談などに対応するため「子育て支援センター」「子ども発達支援センター」等を開設し、子育て支援の整備充実

に努めている。

●これからのいろいろな機会にお母さんたちの意見を聞きながら、国、道の少子化支援策と連携を図り本町の実態に即した施策を展開したい。（二部省略）

追跡の結果

●出産から高校まで、支援策が充実

●白糠町では「太陽の手“子育て支援”として、従来までの施策のほか、現在では他町村に先駆けてさまざまな支援策を展開しています。

- 出産祝い金を支給
- 保育料を無料化
- 新入学児童・生徒入学生支援金を支給
- 給食費を無料化
- 18歳まで医療費を無料化
- 白糠高校生を対象に無料の公営塾を開設
- 白糠高校生を対象に給付型の奨学金を支給
- 白糠高校生を対象に資格取得助成金を支給



追跡② 公衆浴場は必要

●平成24年第4回定例会
中河議員の質問

当時の質疑・答弁

●本年、広報しらぬかの太陽

のてがみにおいて「公衆浴場について」の意見に今一度検討するとあるが、町として考えている支援内容は、
●入浴困難者の対応を検討してきたが、町が建設し経営することができないことは今後も変わらない。その上で方策としては、民間の方で公衆浴場

の経営を考えるならば、町として支援を考える。

追跡の結果

●オカモトさんが寄贈してくれた。

●体育施設の指定管理者となつている(株)オカモトが、温水プール（サンアリーナ）に併設する形で平成28年2月に温浴施設を建設し、町に寄贈してくれました。

●現在は大人が440円で入浴できますが、月額会費で温浴施設も利用可能となるサンアリーナのプレミアムメンバー（1人当たり3450円）になる方も多く、沢山の方に利用されています。

追跡③

●ふるさと納税はどうなっている？

●平成26年第1回定例会
折出議員の質問

●当時の質疑・答弁
●平成20年度にふるさと納税制度がスタートした。
●町の魅力をもっと知ってもらうためにも、寄附者に対して特産品などを贈呈してはどうか。その事により地域経済への波及効果も考えられる。
●圏地元の特産品を贈呈するなどの特典をもつて寄附を呼び込むことも検討したが、寄附行為そのものの精神を第一に考え、そこに見返りを求める方はいないと判断し、従来からの感謝状等を贈呈している。

●追跡の結果
●返礼品を開始↓寄附額が激増↓経済振興に大きく貢献。
●国がワンストップ特例制度の創設等、寄附をしやすい環境を整え積極的に推進する姿勢となったことから、平成27年10月より返礼品の贈呈を開始しました。
●イクラや毛ガニ等が人気を呼び、平成27年度は1億6千万円、28年度は8億2千万円、29年度は18億5千万円の寄附が集まりました。

追伸 一年間でこれだけ会議をやりました。

平成 30 年 会議出欠一覧

(平成 30 年 1 月～ 12 月)

区分	定例会・臨時会					委員会等（※ 1）				
	開催 日数	出席	欠席	遅参 早退	全日程 出席率	開催 日数	出席	欠席	遅参 早退	全日程 出席率
折出征清	10	10	0	0	100%	48	47	0	1	97.9%
立石 巧	10	10	0	0	100%	49	48	1	0	98.0%
中河敏史	10	10	0	0	100%	28	24	1	3	85.7%
中村仁志	10	10	0	0	100%	40	39	1	0	97.5%
小野キサ	10	10	0	0	100%	47	45	1	1	95.7%
岡嶋賢悟	10	10	0	0	100%	39	38	1	0	97.4%
鎌田民子	10	10	0	0	100%	48	48	0	0	100%
山吉公德	10	10	0	0	100%	34	34	0	0	100%
福地裕行	10	10	0	0	100%	28	27	0	1	96.4%
小池憲一	10	10	0	0	100%	39	39	0	0	100%
石田正義	10	9	0	1	90%	27	24	2	1	88.9%
富田忠行 （※ 2）	10	8	2	0	80%	13	13	0	0	100%

- ※ 1 常任委員会、特別委員会、議会運営委員会のほか、議員研修会等を含めた延べ日数（回数）。所属によって開催日数が異なります。（委員会開催前の打ち合わせは日数に含めておりません）
- ※ 2 議長（富田忠行）は総務文教常任委員会以外の委員会には所属しませんが、委員会にオブザーバーとして参加しているほか、公務として町内外の各種会議及び行事に年間 80 日程度出席しています。



（株）神戸物産のご協力により、第 3 回定例会（9 月）終了後に木質バイオマス発電所を視察しました。



拝啓 委員会もやっています。

総務文教常任委員会 11 月 30 日・12 月 7 日 2 回開催

停電対策と災害ごみ計画を策定せよ！

- 役場の担当から下記事業の説明を受けました。
- 胆振東部地震を教訓とした停電対策
 - 大規模災害における業務継続計画・災害ゴミ計画の策定等
 - 消防庁舎実施設計の進捗状況
- 【委員からの主な意見】
- ・停電時における燃料の確保や発電機の整備を願う。
 - ・災害ごみの計画がないのは全道で 13 自治体しかない。本町もそこに含まれており、災害時を想定すると必要。作成に向けて検討願う。
 - ・消防庁舎について、工事開始後に設計変更がないよう留意願う。
- （小野、折出、岡嶋、山吉、石田、富田）

産業厚生常任委員会 11 月 27 日・12 月 4 日 2 回開催

ヘンプの規制を変えるために国会議員へ働きかけよ！

- 役場の担当から下記事業の説明を受けました。
- 新ヤナギ 100 ヘクタール栽培作戦 in しらぬか
 - エゾシカやヒグマによる被害状況とその対策
 - 蔬菜生産の収穫状況等について
 - 産業用大麻（ヘンプ）の進捗状況について
- 【委員からの主な意見】
- ・ヤナギの栽培事業は職員人件費を含めると多大な経費がかかっている。そろそろやめるべき。
 - ・エゾシカ被害対策は全道的に取り組まなければならない問題。北海道に対して国立公園での駆除も含めて積極的に働きかける必要がある。
 - ・蔬菜生産で支援員が辞めたのは残念だが、その反省を踏まえて事業継続できるように努力願う。
 - ・産業用大麻は国の規制を変えなければ前に進まない。地元国会議員へ働きかけよ。
- （申村、立石、申河、鎌田、福地、小池）

釧路町村議会議員研修会 11 月 7～8 日

セクハラ・パワハラ等について学んできました！

- 11 月 7～8 日にかけて弟子屈町で開催された研修会に 11 名の議員が参加しました。
- 初日は釧路法務局の五十嵐人権擁護課長によるセクハラ・パワハラ講演と、釧路サイクルツーリズム推進協議会の服部事務局長によるサイクルツーリズムの講演、2 日目は北海道町村議会議長会の村川局長による議会の運営等にかかる講演を聴講しました。
- セクハラ・パワハラについては、熊本市議が市職員に対するパワハラで辞職勧告を受けるなど身近な問題となっており、サイクルツーリズムについても、日本人はもとより最近では海外からも自転車で旅をする方が増加し、本町を含めた釧路地域の魅力を発信できる重要な観光手法となっていることから、それらの最新の状況や取り組みを学ぶことが出来た非常に有為な講演内容でした。
- また、村川局長からは議会活動を町民に知ってもらうためのモニター制度の活用や、一般質問の基本的な内容等にかかるお話を伺いました。今回の研修会で学んだ事を今後の議会活動に活かしていきます。
- 研修会の様子

※（ ）は委員会に所属している議員名です。なお、上記の他に議会運営委員会を 2 回、定数等調査特別委員会（2 ページ参照）を 3 回、広報調査特別委員会を 2 回開催しています。

はまのみらい
まちのみらい to

まちづくり等に対する町民意見を掲載する「傍聴席から」。

今回で登場いただいたのは、白糠漁協青年部長の雲津知成さんです。

介護福祉士の資格を持った異色の漁師

まずは漁師になった経過から教えてください。

【雲津さん】親が漁師をやっていたので、小さいころから仕事を見たりしていて身近に感じていました。ただ、高校の頃までは漁師を継ぐ気はなかったんですね。親からも継がなくても良いという感じで言われていましたし。

それで高校を卒業してから釧路の専門学校に通って介護

福祉士の資格をとりまして、卒業後は中標津町内の病院に5年間勤めました。

話の途中ですが、どうして介護のお仕事に？

【雲津さん】祖父母が近所に住んでいまして、小さいころからよく祖父母の家に遊びに行っていたんですね。そんな感じでお年寄りと関わるのがごく普通のことだったので、その延長で介護の仕事に就いた感じですかね。

中標津の病院に勤めた後に漁師になられた？

【雲津さん】中標津の後に釧路市内の特別養護老人ホームに1年間勤めたのですが、そのときに漁が忙しいときは実家の手伝いをしていました。



漁師の魅力向上
そのための育てる漁業

中標津町で5年間生活されていましたが、比較して白糠のよいところは？

【雲津さん】難しいですね（笑）。中標津町も自然は豊かだし、道立公園もあるし、空港もあるし、お店も沢山あって暮らしやすい町でした。

けれど小さな頃から海をみてきて、美味しい魚を食べ育て、公園がわりに砂浜を走り回っていたので、自分にとって海があるのとないのではだいぶ違います。その海がないというのはなんというか、何か足りない感じはしていました。

それで漁師という仕事をより身近に感じたこともあるし、父親も少しずつ歳をとってきたこともあったので、このタイミングかなと感じて27歳で漁師になりました。当時勤めていた介護の仕事の給料が低かったというのも理由の一つとしてあるんですけど。

家業を継がれて両親は喜ばれたのでは？

【雲津さん】親は反対していましたが（笑）。

漁師の仕事は体で覚えているものなので、中学や高校を出てからすぐに働いている人が多いんですね。そんな中で27歳で漁師になるのがどうなのかと。中には自分より年上で漁師になる人もいますけど、漁師になるには遅いとい

うか、そんな感じの事は言われました。

実際に漁師をやられてどうですか？

【雲津さん】漁師として覚えなければならぬ事は多いんですけど、白糠の青年部長のほかに、今年から釧路・十勝地区の青年部の連絡協議会の代表も務めています。そういった事はばかりでなかなか追いつかないです（笑）。

町のために出来ること
海外で学ぶこと

青年部の話がでしたが、部長職はいつから？

【雲津さん】平成26年の4月からの今年で5年目。部長の任期は1期2年間で、現

験してほしいです。

というのも、子どもの医療費等無料化をどんどん進めていてありがたい話なんですけど、大人になって就職のために白糠を離れてしまうと、人口も減って高齢化が進んでしまうので、漁師もそうすけど、魅力を感じる機会を高校のうちから体験して興味をもってもらって、ほかの町ではなくて白糠の中で就職してくれるといいですね。

そのためには、漁業に携わる立場としては、漁協を含めた関係者全員が増養殖等の育てる漁業に真剣に向き合っていく必要があると感じています。（12月7日雲津さん宅にて）

国が増養殖の取り組みに向けて制度改正等を始めているようなので、町からも前向きな支援を期待したいです。

最後に、町づくりに対しての御意見などありませんか？

【雲津さん】白糠高校を含めての話になりますが、高校生の中にいろいろな職種を体



ともなり 雲津 知成さん

38歳

趣味：溪流釣りとおブロードバイクでの林道ツーリング。「でも、子どもが野球を始めからは、夏場はほとんど野球の応援かな（笑）」

◆取材後記◆

文中にあるように、雲津さんは「介護福祉士」の資格を持っていますが、後日談で「保育士」の資格も取得していると伺いました。イルミネーション点灯式で子どもを相手にする姿はまさに保育士。

そんな老人から幼児までを相手にする優しい性格ながら、幼少期から中学生の頃までは剣道を習っていたという、『気は優しく力持ち』を地で行く、日本昔話に出てくる主人公のような青年。いつか青年は漁業の域を越え、町づくりに大活躍。取材を終えてそんな姿を夢想した平成最後の師走、雪の降る夜。

※海外研修 ～ 地域の青年リーダーとして高い意識と経営感覚に優れた人材の育成を図ることを目的として、各経済団体から推薦を受けた4名と町職員1名が研修を行います。

上げるために何か出来ないか青年交流会の中で話をしていた、商店街のイルミネーション点灯式（12月15日）の時には牛乳やココアの配布、紙袋キャンドルの作成等を計画しているほか、漁協青年部としても輪投げコーナーを設けて、景品として海産物を提供しようかと考えています。

青年の交流というと、3月には海外研修（※）に行かれるようですが？

【雲津さん】そうですね。農業、商業、林産業の各代表1人と私、それに役場の方1人を含めた5人でタイとベトナムに10日間行ってきました。

外から見る視野の広さやグローバルな感覚を養うことを目的に向かいますが、異業種の方と10日間にわたって一緒に過ごすことも勉強になるでしょうし、せっかくの研修ですからいろいろな事を吸収して実りあるものにしたいです。自分がない間のツブ漁の助っ人を探すのも大変なんですけど（笑）。



[白糠いい店こんな店]

今号で紹介するのは、洋食、和食、更にはラーメンまで、幅広いメニューの食事が楽しめる「エランドール」さんです。

営業時間は昼の11時から夜の9時までで、お昼はコーヒーがセットになるランチメニューを目当てに、夜は仕事帰りの一杯と美味しい料理を目当てにサラリーマン等が来店しますが、多彩なメニューの中でも人気なのが釧路地方人のソウルフードとも言える「ミートカツスパゲティ」と、塩こしょうでやさしい味に仕上げる「エランドール風スパゲティ」。店主の佐々木明久さんが釧路市の某洋食店で修業した自慢の逸品です。

お店は店内での食事や出前のほか（ラーメンは出前不可）、仕出し弁当やオードブル、宴会料理にも対応しています。ちなみに、宴会料理は店名から洋食をイメージしてしまいがちですが、写真のとおり事前に相談することでお刺身や煮物等にも対応してもらえます。

- 住所：白糠町東一条南一丁目
- 電話：(2) 2711
- 営業時間：11～14時・18～21時(日曜定休)

E l a n d o r
エランドール

写真右：店主の明久さん

【おしらせ】エランドールさんからのご提供 ～ 来店により3名以上で料理をご注文の際「議会だより見たよ」で、ざんぎを一皿サービス。(本年2月末迄。お一人様一回限り)



[あしがき]

昨年を振り返りますと、6月には大阪で震度6弱の地震、7月には西日本豪雨、9月には北海道胆振東部で最大震度7の地震が発生し、更には地震の影響で苫東厚真発電所が停止したことにより、北海道内全域が停電となりました。

近年、異常気象と思われる自然災害が多数発生していますが、こういった災害を想定内と考えて、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

早いもので、4月には統一地方選を迎えます。

我々の任期もあと3カ月となりましたが、残された短い期間で何ができるのか、自問しながらも歩みを続けていきたいと思います。(折出)



[今号の表紙]



今号の表紙は、漁協青年部長の雲津知成さんにご登場いただきました▼乗船している船は、今の時期にカニかご漁で活躍しているご実家の船「栄松丸」。逆光の中での撮影で時間を要し、雲津さんにはお手数をおかけしました▼裏表紙にご登場いただいた「エランドール」さんは、広報委員会の交流会でお世話になった流れでご登場いただきました。美味しい料理と併せて大変お世話になりました。